

ゆかりの寺シリーズ その28

浅井長政 ゆかりの寺
「養源院（浄土真宗遣迎院派）」

養源院は文禄3年（1594年）戦国武将であった浅井長政の菩提を弔うために、長政の二十一回忌に長女・淀殿の願いにより、豊臣秀吉によって建立されました。養源院の寺名は長政の院号から来ています。その後、元和5年（1619年）に火災に遭い焼失しましたが、二年後には淀殿の妹・崇源院（長政三女）によって再建されました。現在の本堂は再建時の姿を留めているといわれます。養源院ゆかりの浅井長政は、戦国時代に滋賀県の北部を領地とした大名でした。

織田信長の妹・お市を妻としましたが、後に長政は信長と離反し『姉川の戦』で織田・徳川連合軍に敗れ、天正元年（1573年）に小谷城で自刃しました。

しかし妻お市の方は娘三人と共に信長によって助け出され、長女茶々は後に豊臣秀吉の側室となり淀殿と呼ばれました。また三女お江与は二代將軍徳川秀忠の正室となりました。

このように浅井家にゆかりの深い養源院は、もと天台宗、現在は浄土真宗遣迎院派のお寺です。



養源院 本堂



浅井長政



養源院 山門

- **宗祖聖人月忌・
門信徒祥月命日法要**（善教寺本堂）
 - 一月 十六日（火）午後一時半～
 - *毎月十六日に本堂において勤めております。



- 「御正忌法要」**（善教寺本堂）
 - 一月 十三日（土）
 - 午前十時～ 午後一時半～ 朝席
 - 午前七時～ 昼席
 - 講師 講師 長尾量之師
- （東広島市黒瀬町淨願寺）

「元旦会」（善教寺鐘楼堂）
一月 一日（月）午後十一時四十五分～

*鐘楼堂にて除夜の鐘を撞きます。

十二月三十一日（日）
午後十一時四十五分～

今後の法要スケジュール